

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正その 3 新旧比較表

○ ○ ○ ○ ○ : 追加・修正

○ ○ ○ ○ ○ : 削除

現 行 (I-1-10)					修 正					備考 (内容)
a. 使用車種及歩掛表					a. 使用車種及歩掛表					
車 種	と び 工	普通作業員	積 卸 機 械	適 用 物 品	車 種	と び 工	普通作業員	積 卸 機 械	適 用 物 品	
4 t		(3人) $\frac{1}{7} \times 0.23 \times 3$ =0.10人/t	トラッククレーン 4.8~4.9 t 吊 $\frac{2 \times 10}{60} \times \frac{1}{0.3 \times 4.85}$ =0.229 h/t	管属具類、各種鉄蓋 弁室ブロック等の運搬	4 t		(3人) $\frac{1}{7} \times 0.23 \times 3$ =0.10人/t	トラッククレーン 4.8~4.9 t 吊 $\frac{2 \times 10}{60} \times \frac{1}{0.3 \times 4.85}$ =0.229 h/t	管属具類、各種鉄蓋 弁室ブロック等の運搬	文言の削除・修正
8 t	(1人) $\frac{1}{7} \times 0.167 \times 1$ =0.02人/t	(4人) $\frac{1}{7} \times 0.167 \times 4$ =0.10人/t	トラッククレーン 7.0 t 吊 $\frac{2 \times 15}{60} \times \frac{1}{0.3 \times 10}$ =0.167 h/t	管類 (直管、異形管) 等の運搬	8 t	(1人) $\frac{1}{7} \times 0.167 \times 1$ =0.02人/t	(4人) $\frac{1}{7} \times 0.167 \times 4$ =0.10人/t	トラッククレーン 7.0 t 吊 $\frac{2 \times 15}{60} \times \frac{1}{0.3 \times 10}$ =0.167 h/t	管類 (直管、異形管) 等の運搬	
(注) 1. 積載率を80%とする。 2. トラッククレーンの回送費は計上しないものとする。 b. 運搬距離 運搬距離は、10kmまで、20kmまで、30kmまでの内から適正なものを選定する。					(注) 1. 積載率を80%とする。 <u>2.</u> トラッククレーンの回送費は計上しないものとする。 b. 運搬距離 運搬距離は、10kmまで、20kmまで、30kmまでの内から適正なものを選定する。					
(5) 準備費					(5) 準備費					
ア. 準備費の積算					ア. 準備費の積算					
準備費として積算する内容は次のとおりとする。					準備費として積算する内容は次のとおりとする。					
(ア) 準備及び後片付けに要する費用					(ア) 準備及び後片付けに要する費用					
a. 着手時の準備費用					a. 着手時の準備費用					
b. 施工期間中における準備、後片付け費用					b. 施工期間中における準備、後片付け費用					
c. 完成時の後片付け費用					c. 完成時の後片付け費用					
(イ) 調査・測量、丁張等に要する費用					(イ) 調査・測量、丁張等に要する費用					
a. 工事着手前の基準測量等の費用					a. 工事着手前の基準測量等の費用					
b. 縦、横断面図の照査等の費用					b. 縦、横断面図の照査等の費用					
c. 用地幅杭等の仮移設等の費用					c. 用地幅杭等の仮移設等の費用					
d. 丁張の設置等の費用					d. 丁張の設置等の費用					
(ウ) 伐採、整地及び除草に要する費用					(ウ) 伐採、整地及び除草に要する費用					
準備として行うブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹などを除去する伐開、除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用 (伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込み作業を含む。樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)					準備として行うブルドーザ、レーキドーザ、バックホウ等による雑木や小さな樹木、竹などを除去する伐開、除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用 (伐開、除根及び除草は、現場内の集積・積込み作業を含む。樹木をチェーンソー等により切り倒す伐採作業は含まない。)					
(エ) 試験掘等による地下埋設物調査に要する費用					(エ) 試験掘等による地下埋設物調査に要する費用					

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正その 3 新旧比較表

○ ○ ○ ○ ○ : 追加・修正

○ ○ ○ ○ ○ : 削除

現 行（Ⅱ-7-6）	修 正	備考（内容）																						
<p>第 2. 矢板打設、引抜き</p> <p>1. 建込工法 「平成29年度水道事業実務必携 第一編 2-2-2 土留歩掛表（軽量鋼矢板たて込み）、機械施工」によるものとする。 なお、設置（建込）に使用する機械は掘削工と同様のバックホウとする。</p> <p>2. 油圧圧入引抜き 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-②-3 油圧圧入引抜き」によるものとする。</p> <p>3. プレボーリング 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-②-4 ディーゼルハンマ・プレボーリング」によるものとする。</p> <p>4. クレーン引抜き 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-④鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜き)」によるものとする。ただし、引抜き長が10m未満の場合は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 日当たり引抜き枚【本】数（N）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: left;">引抜き長（m）</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">有り</th> <th style="text-align: center;">無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5 未満</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5 以上10未満</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 軽量鋼矢板圧入引抜き (1) 適用範囲 ア. 本資料は、油圧式杭圧入引抜き機による、軽量鋼矢板（有効幅333mm）の圧入と引抜きに適用する。最大矢板圧入長及び引抜き長は6 m、適用土質は最大N値20以下とする。またこれらの適用範囲を超えるものについて、別途考慮する。 イ. 油圧式杭圧入引抜き機の反力チャックのつかみ代は、400mmを標準とする。 ウ. 施工場所が、建設工事公衆災害防止対策要綱に定める「公衆に関わる区域」に該当する場合は、同要綱に則って積算する。</p>	引抜き長（m）	作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害		有り	無し	5 未満	28	32	5 以上10未満	25	28	<p>第 2. 矢板打設、引抜き</p> <p>1. 建込工法 「平成29年度水道事業実務必携 第一編 2-2-2 土留歩掛表（軽量鋼矢板たて込み）、機械施工」によるものとする。ただし、両側分の延長を片側分に換算する。なお、設置（建込）に使用する機械は掘削工と同様のバックホウとする。</p> <p>2. 油圧圧入引抜き 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-②-3 油圧圧入引抜き」によるものとする。</p> <p>3. プレボーリング 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-②-4 ディーゼルハンマ・プレボーリング」によるものとする。</p> <p>4. クレーン引抜き 「平成29年度国土交通省土木工事標準積算基準書 Ⅱ-5-④鋼矢板(H形鋼)工(クレーン引抜き)」によるものとする。ただし、引抜き長が10m未満の場合は次表による。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 日当たり引抜き枚【本】数（N）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: left;">引抜き長（m）</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">有り</th> <th style="text-align: center;">無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5 未満</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5 以上10未満</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 軽量鋼矢板圧入引抜き (1) 適用範囲 ア. 本資料は、油圧式杭圧入引抜き機による、軽量鋼矢板（有効幅333mm）の圧入と引抜きに適用する。最大矢板圧入長及び引抜き長は6 m、適用土質は最大N値20以下とする。またこれらの適用範囲を超えるものについて、別途考慮する。 イ. 油圧式杭圧入引抜き機の反力チャックのつかみ代は、400mmを標準とする。 ウ. 施工場所が、建設工事公衆災害防止対策要綱に定める「公衆に関わる区域」に該当する場合は、同要綱に則って積算する。</p>	引抜き長（m）	作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害		有り	無し	5 未満	28	32	5 以上10未満	25	28	<p>文言の追加</p>
引抜き長（m）		作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害																						
	有り	無し																						
5 未満	28	32																						
5 以上10未満	25	28																						
引抜き長（m）	作業補正条件 家屋、鉄道、橋梁、道路、施設及び構造物による障害																							
	有り	無し																						
5 未満	28	32																						
5 以上10未満	25	28																						

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正その 3 新旧比較表

○ ○ ○ ○ ○ : 追加・修正

○ ○ ○ ○ ○ : 削除

現 行（施工パッケージ型積算方式工種一覧）					修 正					備考（内容）		
平成29年(後期)土木工事積算基準 施工パッケージ型積算方式適用工種一覧					平成29年(後期)土木工事積算基準 施工パッケージ型積算方式適用工種一覧					掲載表の整理と修正		
No	ページ			積算基準名称	施工パッケージ名称	No	ページ				積算基準名称	施工パッケージ名称
1	II	-	1	構造物掘削	掘削	1	II	-	1		掘削工	掘削
2	II	-	1	"	埋戻し	2	II	-	1		"	埋戻し
3	II	-	1	"	押土(ルーズ)	3	II	-	1		"	押土(ルーズ)
4	II	-	1	"	積込(ルーズ)	4	II	-	1		"	積込(ルーズ)
5	II	-	1	"	床掘り	5	II	-	1		"	床掘り
6	II	-	1	"	掘削補助機械搬入搬出作業	6	II	-	1		"	掘削補助機械搬入搬出作業
7	II	-	1	"	基面整正	7	II	-	1		"	基面整正
8	II	-	1	舗装版破碎工	舗装版破碎	8	II	-	1		舗装版破碎工	舗装版破碎
9	II	-	3	コンクリート工	コンクリート	9	II	-	3		コンクリート工	コンクリート
10	II	-	3	"	モルタル練	10	II	-	3		"	モルタル練
11	II	-	3	型枠工	型枠	11	II	-	3		型枠工	型枠
12	II	-	3	基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石	基礎砕石	12	II	-	3		基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工	基礎砕石
13	II	-	3	"	裏込砕石	13	II	-	3		"	裏込砕石
14	II	-	3	"	基礎栗石	14	II	-	3		"	基礎栗石
15	II	-	3	"	裏込栗石	15	II	-	3		"	裏込栗石
16	II	-	3	"	採取小割	16	II	-	3		"	採取小割
17	II	-	6	路盤工	下層路盤(車道・路肩部)	17	II	-	6		路盤工	下層路盤(車道・路肩部)
18	II	-	6	"	下層路盤(歩道部)	18	II	-	6		"	下層路盤(歩道部)
19	II	-	6	"	上層路盤(車道・路肩部)	19	II	-	6		"	上層路盤(車道・路肩部)
20	II	-	6	"	上層路盤(歩道部)	20	II	-	6		"	上層路盤(歩道部)
21	II	-	6	アスファルト舗装工	舗装版切断	21	II	-	6		アスファルト舗装工	舗装版切断
22	II	-	6	"	表層(車道・路肩部)	22	II	-	6		"	不陸整正
23	II	-	6	"	中間層(車道・路肩部)	23	II	-	6		"	基層・中間層・表層(車道・路肩部)
24	II	-	6	"	基層(車道・路肩部)	24	II	-	6		"	基層・中間層・表層(歩道部)
25	II	-	6	"	表層(歩道部)	25	II	-	6		コンクリート舗装工	目地板
26	II	-	6	"	中間層(歩道部)							
27	II	-	6	"	基層(歩道部)							